

## 早稲田大学 社会科学部 数学 講評

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

## 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	2次方程式 図形と式 積分 三角関数	いろいろな分野が混じっているが「解と係数の関係」や「軌跡」「積分」「三角関数」どれも基本的な出題内容である。	やや易
2	ベクトル	(1)はメネラウスを使うと速い典型問題。(2)は内積の計算をするのみ。(3)で一瞬戸惑うが、内積を $\cos \theta$ で表し、 $\cos \theta$ が 0 以上 1 未満の値をとることから $a$ の値の範囲を求めよう。ここは出来なかった人は結構いるかもしれない。	標準
3	整数	$k$ 進法という設定であるので全くできない人とできた人が真っ二つに割れる問題である。10 進法に直して考える。剰余の定理や合同式を用いると素早く解ける。	標準

## 〔総合コメント〕

昨年に比べ同程度の難易度と量である。大問3の3問と大問2の(3)以降差がつくところである。この5問中3問は正解して、他は全問正解したい。8割がボーダー。